

平成29年9月8日

起業支援ファンド「KVP シード・イノベーション1号投資事業有限責任組合」

に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：高田坦史）は、新事業開拓促進出資事業（ファンド出資事業）において、KLab Venture Partners 株式会社、KVP1 号有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として5億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

『KVP シード・イノベーション1号投資事業有限責任組合』（以下、「本組合」）は、先進的なIT技術で社会課題を解決しようとする、特にリソースが不足しがちな創業間もないシード期のベンチャー企業を中心に投資を行い、エンジニアによる技術支援、事業会社とのネットワーキング、次のステージにつなげるファイナンス支援等のハンズオン支援を実施することで、企業価値の向上を目指すファンドです。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<中小機構について>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的な実施機関として中核的な役割を担う経済産業省所管の独立行政法人です。全国9ヶ所に展開する地域本部を通じ、中小企業の発展と地域振興の実現に向け、創業や新事業展開、販路開拓、海外展開、セーフティネットを含む経営基盤の強化をはじめとする中小企業の様々なニーズに対し、経営アドバイス、研修、ファンドを通じた資金提供、共済制度など多様な支援メニューを揃えています。

【本件に関するお問い合わせ先】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部ファンド事業課（秋吉、坂本）

住所：〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話： 03 - 5470 - 1673（ダイヤルイン）

◆ 「KVP シード・イノベーション1号投資事業有限責任組合」の概要

- KVP シード・イノベーション1号投資事業有限責任組合は、KLab Venture Partners 株式会社、KVP1号有限責任事業組合を無限責任組合員として、平成28年4月に設立された投資ファンドです。
- KLab Venture Partners 株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：長野泰和氏）は、シード・アーリーステージのインターネット関連企業に特化した投資を行うべく、平成27年10月にKLab株式会社の子会社として設立された投資会社です。
- KVP1号有限責任事業組合は、KLab Venture Partners 株式会社のパートナー個人により構成される有限責任事業組合です。

<スキーム図>

